

## 第3ブロック

### 実りあるバス旅行

第3ブロック・税制副委員長 小林 登光

平成20年11月18日（火）に秋の日帰り研修旅行を実施しました。バス旅行の行程は、次のとおりでした。

- 杉並公会堂→第三京浜・横浜新道など①松下政経塾にて研修→西湘バイパスなど②「真鶴岩忠」にて昼食→真鶴道路③MOA美術館（熱海）を見学→真鶴道路④小田原かまぼこ鈴廣にて買い物→小田原厚木道路・東名高速道路→杉並公会堂前。

当日は、晴天に恵まれ、11月と思えない暖かい陽気のなかで、「松下幸之助氏の理念」を学び、「太平洋の大海原」を見ながら昼食をとり、そしてMOA美術館にて「芸術に触れる」ことができるという「実りあるバス旅行」でした。今回は、この松下政経塾での研修内容の一部をご紹介いたします。荻窪法人会の会員の皆様の経営の一助になれば幸いです。

### 「松下政経塾での研修内容」について

#### ① 設立の理念

松下政経塾は、塾主 松下幸之助氏が85歳のときに、当時の金額で70億円もの私財を投じて設立されました。（1984年4月1日 設立）

当時の日本経済は「右肩上がりの成長」を続けていましたが、その成長に比して日本の政治が全く成長していないことを危惧していました。「このままでは日本経済は行き詰る」。まさに、今の日本経済を予見していたかのようです。

#### ② 現役塾生の生の声

当日は、第28期塾生の宮川典子（みやがわのりこ）さんが、松下政経塾を案内してくださいました。（宮川さんのブログ <http://ameblo.jp/mybwork>）宮川さんは、「教育」で日本を建て直す」という研修テーマをもって、日々「自習自得」されています。宮川さんは「まず現場から」という思いから、高校の英語教師を勤められました。5年間の学校生活のなかでショックな出来事があり、このとき「私たちは何をしていたのか」と痛感し、24時間寝る間を惜しんで「教師」であること続けました。しかし、変えられることの限界を感じ、「今、未来の子供たちのために何かをしなければならぬ」という衝動から入塾を志願されたそうです。

#### ① 「塾是」から気づいたこと

松下政経塾には、次のような「塾是」があります。真に国家と国民を愛し、新しい人間観に基づく政治・経営の理念を探求し、人類の繁栄

幸福と世界の平和に貢献しよう。真のリーダーとは、本来、（国家や国民の良い部分だけでなく）悪い部分も愛すべき人なのではないだろうか。今の日本はどうだろうか。「自分が国家の一員だ」と思う意識が希薄になってきている。「今の日本の政治が悪い」と嘆くのではなく、その政治も含めて愛すべきではないだろうか。私たちが、国家を、国民を、（悪い部分も含めて）すべて愛せなければ、日本は建て直せない。

#### ② 「人材こそ日本の財力」

最近の教育の問題として、「子供に責任転嫁されるケースが増えてき

たこと」があるのではないか。でも、それは「私たち大人の責任」なのではないだろうか。私たち大人が、子供の「良い部分」だけでなく「悪い部分」も含めて愛せているだろうか。私たち大人の責任とは何だろうか。「大人がしなければならぬこと」は何だろうか。これは、「次世代に渡すバトンを明確にすること」であるだろう。「自分の思い通りになる子供」ではなく「自ら考えることができる子供」の育成。それが無くして日本の教育を建て直すことはできない。「次世代への明確なバトン」、「人材こそ日本の財力」である。



（上）松下政経塾にて記念撮影。（右下）MOA美術館の幻想的な長いエスカレーター。（左下）MOA美術館「全GOLD 黄金の国ジバング展」にて。